

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2009
平成21年

2.15

目次

広報サポーターだより ちょっと珍しい、動物紹介	2
堀切校区	4
学校は今…「キャリア教育」	5
田原市民活動支援センターのページ	6
お知らせ	7
連載コーナー	10

潮風をまとい
凜として!





▲左からポニー、ミニチュアホース、ラバ



▲手作りの乗馬コース

馬

こちらのポニー、ミニチュアホース、ラバは、大草町志田^{しだ}で、鈴木傑^{たけ}さんご夫妻に飼われています。馬が好きで、自分で乗りたいと思いつく3年前から飼いはじめたそうです。馬は生息が人間に近く、愛情が伝わりやすい動物で、触ったり、乗ったりしてふれあうと、

心もいやされるとのこと。今回の取材で、私も初めて乗馬を体験しましたが、馬の温かさを感じ、いい心地でした。
 鈴木さんがいる時に見に行くと、馬の体調がよければ、乗せてもらえるかもしれませんよ。



広報サポーターだより ちよつと、珍しい、動物紹介

こんにちは。広報サポーターの柳原由美です。田原市には、犬や猫だけでなく、珍しい動物を飼っている方がたくさんいるのをご存じですか？ペットとして飼われている動物、家畜として飼われている動物など、今回は、ちよつと珍しい動物についてご紹介します。



▲見事に羽を広げたクジャクのオス



●観光情報サービスセンター(めっくんはうす)
 ☎23局2525

クジャク

蔵王山展望台のそばでは、四羽(オス二羽、メス二羽)のクジャクが飼われています。その中でオスの一羽は、4年ほど前にここで産まれ、ヒナから大事に育てられました。卵は、鶏卵よりもだいぶ大きいベージュ色だったそうです。寒さに弱く、育てるのは大変だったようですが、今では大きく羽を広げて、私たちにも美しい姿を見せてくれることがあります。



柳原由美



▲エサやり体験もできます

●サンテパークたはら
☎25局1234

ミニブタ

サンテパークたはらのミニブタは、子どもたちに大人気。食いしん坊で、人なつっこくて、しっぽを振りながら近寄ってきます。そっと背中をなでてみると、思ったよりも毛が硬いことにびっくりしました。
小動物園には、ウサギやモルモットもいるので、ぜひ遊びに行ってみてください。

おもしろ動物写真館



▲アイガモ(江比間町)



▲アロウカナ(越戸町)



▲ケヅメリクガメ(野田町)



▲エミュー(江比間町)



▲シバヤギ(田原町)



▲ダチョウ(神戸町)

馬、クジャク、ミニブタのほかにも、市内では珍しい動物が飼われていますので紹介します。

今回の取材では、動物たちがとても大切にされているのが伝わってきました。皆さんも、愛情を持って接してあげてくださいね。



※飼育する場合、届け出が必要な動物もありますので、ご注意ください。(写真は柳原撮影)

❖動物介在療法(アニマルセラピー)

動物を飼うことや、ふれあうことは、心のストレスを和らげるなどの良い影響を与えるとわれています。これらの効果を活用したものは「動物介在療法」といわれ、医療や福祉の場に取り入れられています。

堀切

基礎データ

【人口】2,191人(H20.12.31現在)

【世帯】569世帯(H20.12.31現在)

【面積】約880ha

【公共施設】伊良湖岬保育園・堀切小学校・伊良湖岬中学校・渥美運動公園・初立池公園

【史跡・文化財】伊良湖東大寺瓦窯跡・血焼古窯館・ハマボウの野生地・ハマセンダン

【主な産業】農業



●片浜十三里と呼ばれる美しい海岸線

校区の特徴

堀切校区は、田原市の南西部、渥美半島先端の伊良湖岬から5kmほど東に位置し、片浜十三里と呼ばれる美しい太平洋岸に面しています。東側の渥美の森、西側の初立池公園、北側に広がる農地とあいまって、自然環境に恵まれた地域です。校区は旧来からの住民が多く、堀切と小塩津の2地区で構成されています。どちらも施設園芸が盛んで、電照菊・トマト・鉢花・観葉植物の全国有数の産地です。



●小塩津の鉢花

世代を超えた交流

素晴らしい自然環境と景観に恵まれた堀切校区では、これらの資源を活かした行事を行っています。

初立池ウォーキング大会

毎年4月、桜の名所である初立池周辺で開催しています。昨年は、175名の参加者が満開の桜の下でスタンプラリーをしながらのウ

ォーキングと、ゴール後のビンゴ大会を楽しみました。



●春は桜、初夏にはしょうぶ・あじさいが水面に映え、散策におすすめの初立池公園

校区ふれあい地引網

昨年はあいにくの悪天候で地引網はできませんでしたが、校区の皆さんが持ち寄った魚でバーベキューを催し、楽しい時間を過ごすことができました。海岸清掃も行い、海岸侵食やゴミ問題について考える機会にもなりました。



●地引網の様子(堀切海岸)

みんなで守っています

ハマボウ(県指定天然記念物)

西南暖地の海岸付近に生育する落葉樹で、この地域が分布の北限に近く、市内では3か所でしか見

ることができません。国道42号沿いの新堀川河口付近に野生しており、地区住民が下草刈りなどの保全活動をしています。



●初夏～8月に鮮やかな花を咲かすハマボウ

ハマセンダン(市指定天然記念物)

近畿以西に生育する南方系の半落葉樹です。堀切小学校にあるハマセンダンは樹齢500年ともいわれ、分布の北限とみられています。学校のシンボルでもあり、PTAの皆さんや先生方の手で大切に守られています。

ほかにも、地域の有志がボランティアで海岸清掃やウミガメの保護活動を行っています。

(文:堀切校区)

●愛知県内唯一のハマセンダン



HP 堀切市民館ホームページ
<http://www18.ocn.ne.jp/horikiri/>
 堀切市民館 検索



学校は、今...

SCHOOL REPORT ⑦
キャリア教育
(職場体験学習)

キャリア教育とは、将来にわたる自分の生き方を考えるとともに、社会の一員としての役割などについて学ぶ教育です。市内の7中学校で、200余りの事業所の協力を得て行った職場体験学習などのキャリア教育をご紹介します。

●指導課 ☎23局3679



事前学習 (職業調べ、マナー指導、事前打ち合わせなど)

◎「働く」とは、どういうことか考える

心身ともに大人へと変わって行く時期に、自立心と社会性をしっかりと身につけることをねらいとして、事前学習を行いました。生徒たちは「どうして大人は仕事をしているのか」「どんな仕事があるのか」など、職業に対する考えや関心を高め、一人ひとりが課題をもって取り組むことができました。(福江中学校)



▶職業調べ



5日間の職場体験学習 (あいち・出会いと体験の道場)

◎働くことを体験する

生徒たちは「働くことの大切さを改めて知りました。これからは、働いている親や人に感謝したいです」「仕事はとてもやりがいがあると感じました。楽しそうに仕事をしているのを見て、楽しい、と思える職業に就きたいと思いました」と、働くことの大変さを知り、将来についても考え、充実感を味わうことができたようです。(赤羽根中学校)



▶商店での職場体験

◎働くところを見る！実感する！考える！

70事業所で職場体験をした2年生の生徒187名。元気印の生徒たちも、家に帰るとすぐに眠ってしまったそうです。生徒たちの感想の中には「一週間で一番たくさん口にしたのは、『いらっしゃいませ』と『ありがとうございました』でした」とあり、働くことについて学ぶ良い体験となりました。(田原中学校)



▶地上35mを体験



事後学習 (レポート作成、発表会など)

◎働く喜びを知る

発表会では「以前親から、働いていてうれしいことは、「ありがとう」と言われた時と聞きました。今なら、その言葉の意味が分かる気がします。これからは、働くとき以外でも感謝される人になりたいです」という感想がありました。職場体験は、生徒が個々の夢や希望を見通し、将来を考えるよい機会となりました。(伊良湖岬中学校)



▶発表会で体験報告



田原市民活動支援センターのページ

今月はNPO法人はっくるベリーじゃむをご紹介します。

田んぼに子どもがやってくる!

夏になると田んぼは運動場になります。田原市内の子どもたち、都会の子どもたち、一緒に遊ぶ大学生たちもたくさんやって来て、思い切り遊ぶのです。

私たち「NPO法人はっくるベリーじゃむ」の主な仕事は、こうしたイベントを通じて人や地域を元気にしていくこと。20代の専従職員もいれば、住み込みのボランティアや実習生など、多様なスタッフ陣で活動中です。



活動紹介



「百姓体験で生きる力をつける!」 ～新たな食農教育・環境教育の試み～

百姓とは、百(たくさん)の姓(仕事・能力)という由来があるそうです。農作業だけではなく、山仕事・大工仕事・料理・道具作り、何でもできる暮らしの達人、そんなお百姓さんの暮らしをテーマに、協力農家の農場や里山・海・川などを舞台に、さまざまなプログラムを行っています。今では年間1500人以上の子どもたちが参加してくれるようになりました!

「田舎に泊まろう!子ども編」 ～子どもたちを泊めてくれる農家を募集中～

今後力を入れていきたいのは、都会の子どもたちが本物の農家に泊まり、田舎の暮らしを実体験することです。

協力してくれる農家の方を募集しています。我が家に泊めてもいいよ、という方はもちろん、空き家やいらぬ農機具、使っても良い遊休農地などがありましたら、ぜひご連絡ください!(新規就農を目指している人も訪れてきています!)



次年度『田んぼの学校』のお知らせ

期間:平成21年4月～毎月1回 の予定
=定員25名の2クラス制=
(Aクラス 第2日曜日/Bクラス 第3土曜日)
場所:「どろんこ広場」田原市江比間町下り番場6
主催:NPO法人はっくるベリーじゃむ

連絡先

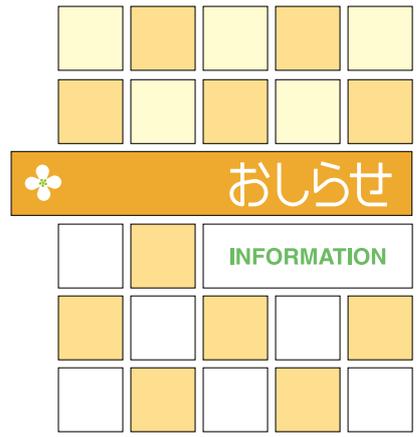
NPO法人はっくるベリーじゃむ
田原市江比間町三字郷中24 Tel(0531)34-1234
メール info@huklejam.com
ホームページ http://huklejam.com

今後の市民活動ニュース

日時	内容	会場ほか	連絡先
3/1(日) 10:00~15:00	第2回 しみんのひろば ～おもしろいじゃん!市民活動 やるじゃん!田原人～	田原文化会館内	市役所総務課市民協働係/ 田原市民活動支援センター Tel:23-3506
3/16(月)	広報たはら4/15号の原稿締切	⇒ 投稿先: 市役所総務課市民協働係 Tel:23-3506 Fax:23-0180	

市民活動支援センターでは開設時(毎週金・土・日午後2～7時)にはいつでもNPO・市民活動相談などを受け付けています。田原文化会館フリースペースにお越しください。同時にこの広報ページへの持ち込み原稿も大歓迎です!
*紙面の都合上、内容を編集させていただく場合がありますのでご了承ください。

投稿先: 総務課市民協働係 TEL: 0531-23-3506 FAX: 0531-23-0180 Email: somu@city.tahara.aichi.jp
紙面作成・編集: 田原市民活動支援センター



MEMBER OF COMMITTEE

委員

人権擁護委員

新しい人権擁護委員に、伊藤節子さん（江比間町）、本田進さん（亀山町）が法務大臣から委嘱されました。任期は平成21年1月1日から平成23年12月31日までの3年間です。



募集

WANTED

田原市嘱託員 (田原市地域職業相談室業務)

▼募集人員 1名 ▼要件 パソコンのエクセル・ワードが扱える方

▼採用期間 4月1日～平成22年3月31日 ▼勤務内容 来所者の受付や案内、募集情報資料の管理、求職者に対する募集情報資料の提供など

▼勤務場所 田原市地域職業相談室
▼勤務形態 週4日程度（土・日曜日・祝日・年末年始を除く）／午前9時～午後5時 ▼報酬 月額10万円 ▼選考方法 面接（期日など詳細は後日通知） ▼申し込み 3月2日（月）までに商工観光課にある履歴書に必要事項を記入のうえ提出

▼商工観光課

☎ 23局 3516 FAX 22局 3817

田原市臨時職員 (図書館業務)

▼募集人数 若干名 ▼採用期間 4月1日～9月30日 ▼勤務場所

①中央図書館 ②渥美図書館 ▼勤務形態 ①週5日、午前8時30分～午

後5時15分 ②週5日、午前8時30分～午後5時15分 / 平日午後（4時間） / 土・日曜日・祝日、午前8時

30分～午後5時15分 ▼賃金 時給810円 ▼選考方法 面接・書類

選考 ▼試験日時 3月10日（火）午後1時30分～ ▼申し込み 3月6日（金）午後5時までに、申込用

紙を中央図書館一般カウンターへ提出 / 郵送の場合は3月6日（金）必

着 / 募集要項と申込用紙は、各図書館にて配布（図書館ホームページからもダウンロード可） ▼その他 詳しくは各募集要項をご覧ください。

▼田原市図書館（中央図書館）
☎ 23局 4946 FAX 23局 4646

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/section/library>



田原市嘱託員 (資源化・環境センター業務)

▼募集人員 5名 ▼対象 普通免許およびフォークリフト運転の資格を持つ健康な方 ▼採用期間 4月1日～平成22年3月31日 ▼勤務場所 東部資源化センター・赤羽根環

境センター・渥美資源化センターのいずれか ▼勤務形態 週5日（35時間） ▼報酬 月額20万円以内 ▼選考方法 面接（期日など詳細は後日通知） ▼申し込み 3月4日（水）までに、清掃管理課にある履歴書に必要事項を記入のうえ提出

▼清掃管理課
☎ 23局 3538 FAX 22局 3817

田原市臨時職員 (田原市リサイクルプラザ業務)

▼募集人員 3名 ▼対象 健康でリサイクルに興味があり、土・日曜日に勤務可能な方 ▼採用期間 4月1日～9月30日 ▼勤務内容 リサイクル品の受付や販売など ▼勤務場所 田原市リサイクルプラザ

▼勤務形態 週5日以内 / 午前8時30分～午後5時15分 ▼賃金 時給850円 ▼選考方法 面接（期日など詳細は後日通知） ▼申し込み 3月4日（水）までに、清掃管理課にある履歴書に必要事項を記入のうえ提出

▼清掃管理課

☎ 23局 3538 FAX 22局 3817



**田原市嘱託員
(高齢者世帯家庭訪問等業務)**

- ▼募集人員 2名 ▼対象 看護師の資格がある方 ▼採用期間 4月1日～平成22年3月31日 ▼勤務内容 高齢者世帯の家庭訪問ほか
- ▼勤務形態 祝日を除く月～金曜日 午前8時30分～午後4時30分
- ▼報酬 月額19万2500円 ▼選考方法 面接(時間など詳細は後日通知) ▼試験日 3月23日(月)
- ▼申し込み 3月13日(金) 午後5時15分までに、福祉課で配布する履歴書に必要事項を記入のうえ提出/郵送の場合は3月13日(金) 必着
- ▼その他 詳しくは福祉課で配布する募集要項をご覧ください。
- ▼福祉課
☎23局 4654 FAX23局 3545

田原市博物館講座 受講者

- 田原市博物館学芸員が「文人画の流れと大橋翠石」をテーマに、分かりやすく解説します。
- ▼日時 3月8日(日) 午後1時30分～3時 ▼場所 田原市博物館研修室 ▼定員 30名(先着順)
 - ▼受講料 無料 ▼申し込み 電

話にて

▼田原市博物館
☎22局 1720 FAX23局 3770

活き活き農業セミナー 受講者

市民農園、家庭菜園などで自家用、趣味程度に農作物を栽培してみたい方を対象に、春夏野菜の栽培方法、栽培管理、収穫作業について、4月から8月まで、月2回程度の講座および実技指導を行います。健康づくり、生きがいづくりに役立ててみてはいかがでしょうか。

- ▼対象 農作業に興味のある市内在住・在勤者 ▼定員 15名(申し込み多数の場合は抽選) ▼場所 田原市役所赤羽根支所および周辺のほか
- ▼受講料 4000円 ▼申し込み 3月31日(火) までに①電話にて②ホームページからダウンロードできる申込書に必要事項を記入して直接またはFAX・Eメールにて
- ▼その他 参加者の意向により、講座内容を変更する場合があります。
- ▼営農支援センター(赤羽根支所1階)
☎45局 3114 FAX45局 3419
✉einou@city.tahara.aichi.jp
HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/section/einou/>

「サンテファーム」および「ふれあい農園」利用者

いずれも1区画20㎡(5m×4m)の広さで、利用料は年額5000円です。申し込み多数の場合は抽選により決定します。

サンテファーム

- ▼場所 田原市野田町芦ヶ池地内
- ▼区画数 90区画 ▼利用期間 4月1日～平成22年3月31日 ▼申し込み 平成22年3月31日 ▼申し込み 申込書に必要事項を記入のうえ提出
- ▼受付期間 2月17日(火)～3月6日(金) 午前8時30分～午後5時
- ▼サンテパークたはら
☎25局 1234 FAX25局 1235

田原市民ふれあい農園

- ▼場所 田原市田原町北荒井地内
- ▼区画数 50区画 ▼利用期間 4月1日～平成22年3月31日 ▼申し込み 平成22年3月31日 ▼申し込み 申込書に必要事項を記入のうえ提出
- ▼受付期間 2月16日(月)～3月6日(金) 午前8時30分～午後5時15分
- ▼農政課
☎23局 3517
FAX22局 3817



生涯学習情報誌への広告

田原市教育委員会では、自主財源の確保と市民サービスの向上を目的に、生涯学習情報誌(平成21年度上半期)への有料広告を募集します。

- ▼募集枠数 14枠 ▼掲載場所 生涯学習情報誌(平成21年度上半期)の表表紙および裏表紙/発行部数 19900部 ▼広告のサイズおよび掲載料 **「1種広告」** 縦45cm×横8.5cm、表表紙1回2万円/裏表紙1回1万5000円ほか(2種広告および割引制度あり) ▼申し込み 3月13日(金) までに申込書に必要事項を記入し、署名・押印したものに広告原稿、会社概要などを添付して直接提出 ▼その他 申し込みの際には、要綱・要領などの内容をご確認ください。(申込書および要綱などについては、田原市教育委員会ホームページからダウンロード可) 詳しくはお問い合わせください。
- ▼生涯学習課
☎23局 3531
FAX22局 3811
HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/section/kyoiku/>

生活

LIFE

田原市で生まれた 絵本「じんけん」

平成20年度文部科学省委託事業「人権教育推進のための調査研究事業」で、障害者人権擁護のための教材として絵本「じんけん」がつけられました。制作したのは、障害児の保護者、田原市手をつなぐ育成会、障害福祉事業所と田原市教育委員会などに所属する13名で構成された田原人権ファンクション委員会です。

この絵本には3話が収録されており、いずれも人権について考えていただける内容となっています。2月中に完成し、市内の図書館をはじめ小中学校や保育園、幼稚園などに配布されますので、皆さんぜひご一読ください。詳しくはお問い合わせください。



- ▶収録されている話
ニッポン
- 1.これって…NIPPON?
 - 2.ある日魔法にかけられた
 - 3.四つ葉のクローバー

▼生涯学習課

☎ 23局3531 FAX 22局3811
✉ syogaku@city.tahara.aichi.jp

猫を飼っている方にも願う

猫は年に数回発情して、1回あたり6匹前後の子を産みます。2月から3月が1回目の発情期で、5月から6月に子猫が産まれます。産まれた子猫の措置に困り、動物保護管理センター東三河支所などに収容される場合があります。猫を飼う際には、次のことを守りましょう。

- 最期まで責任をもって飼うようにしましょう。
- 飼い主が飼える数以上に増やさないために、不妊、去勢手術をしましょう。
- 首輪に名札を付けるなど、所有者明示をしましょう。
- 交通事故、近所迷惑を防ぐため、室内で飼うようにしましょう。

猫を捨てることは犯罪です。家族探しや飼育方法、しつけ方でお困りの方はご相談ください。

※犬に関する相談も受け付けています。
▼愛知県動物保護管理センター東三河支所

☎ (0532) 33局3777
FAX (0532) 33局3779

税

TAX

寄附金税制が 大幅に拡充されます

市県民税の寄附金控除の対象と計算方法が大きく変わります。

平成20年度分までは、10万円を超える寄附金のみが対象でしたが、平成21年度分からは50000円を超える寄附金が控除の対象となり、控除方式も税額控除に変更となります。

また、都道府県・市区町村に対する寄附金（ふるさと納税）については、さらに特例控除が加算されます。平成20年1月1日からの寄附が対象となり、翌年度の市県民税から控除されます。

平成20年中の寄附について控除を受けるためには、領収書などの証明書を添付して、3月16日（月）までに確定申告（市県民税のみ課税される方は市県民税の申告）をする必要があります。詳しくはお問い合わせください。

▼税務課
☎ 23局3509 FAX 23局0180

寄付

DONATION

次の方からご寄付をいただきました。ご厚意に感謝します。

ふるさと寄附金

▼1月8日、匿名希望の方から社会福祉のため、金30万円。

田原市博物館平常展

●2月19日(木)～3月22日(日)

開館時間▼午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)月曜日休館

内容▼春間近々華椿系画家の百花(特別展示室・企画展示室1)、ひな人形展(企画展示室2)

観覧料▼一般210円(160円)、小・中学生100円(80円)
※()内は20名以上の団体割引料金
／毎週土曜日は小・中・高生無料開放日

▼田原市博物館 ☎ 22局1720



▲渡辺華山 雛祭り
天保9(1838)年
田原市博物館蔵

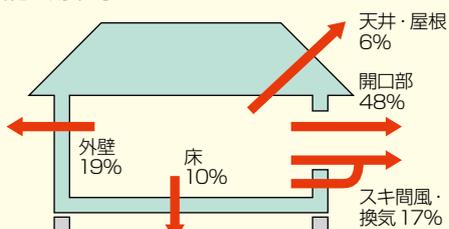
広がる未来へ

●2月は省エネ月間です

暖房機器が活躍する冬季は、家計にも地球にもやさしい省エネが気になる季節です。

一般的な日本の住宅では、約80%の熱が、天井や窓、壁などから逃げてしまうといわれています。最近では、太陽光や自然の風をうまく取り入れた「パッシブソーラーハウス」や、太陽光発電システムを設置した「アクティブソーラーハウス」など、環境を守りながら、健康で気持ちよく過ごせる住宅も増えています。

窓や扉など開口部は家全体に占める面積は小さいのに、48%もの熱を逃がしています。断熱化や気密化が効果的です。



出典：省エネルギーセンター
「かしこい住まい方ガイド 住まいの省エネブックⅢ」(2005年)

▲住宅からの熱の逃げ道

*またはらエコ・ガーデンシティ構想

34

「お金をかけずに省エネしたい」という方は、ホームセンターなどにある断熱材を使い、ご自分で省エネリフォームしてはいかがでしょうか。

○窓ガラスの断熱

気泡シートなどの断熱材を窓に張り、熱が逃げるのを防ぎます。

○カーテンで窓の省エネ

結露を防止して、太陽熱をカットする省エネカーテンなどもあります。

○冷蔵庫の節電

保冷カーテンをつけて節電。切り込みがついていると出し入れがしやすいです。

○床の断熱

カーペットの下に保温シートを一枚敷くと、保温性が高まります。

今月のエコライフ標語

エコライフ 小さなことから
こつこつと

●またはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人161人・事業所3か所(1月末現在)

▼エコエネ推進室

☎23局7401 FAX22局3817



省資源のリサイクルはじまろう

今では、1人1台は持っているといわれる携帯電話やPHS。使用済みのものは、リサイクルすることができ、貴重な資源だということを知っていますか？
今回は携帯電話やPHSについてお知らせします。

何が資源なの？

携帯電話やPHSなどに含まれる希少金属(レアメタル)は、貴重な資源です。

●資源として回収できるもの

- ・携帯電話やPHSの本体
- ・電池
- ・充電器



●回収場所

メーカー、通信サービス提供事業者を問わず、左のマークのある携帯電話販売店などの店舗で、無償で回収しています。



モバイルリサイクルネットワーク
携帯電話の回収に協力するネットワーク

個人情報などのデータは大丈夫？

回収するときに保存・蓄積された個人情報などのデータは消去し、本体、電池、充電器に分別して、再資源化事業者で適正な処理を行います。

●携帯電話PHSのリサイクルに関するお問い合わせ

社団法人電気通信事業者協会
モバイルリサイクル担当
☎(06)6512-0001
HP <http://www.mobile.recycle.net/>

みなさんも携帯電話やPHSの回収にご協力をお願いします。



▼清掃管理課

☎23局33030
FAX22局3817



ゴミゴミとリサイクルレンジャー

10

交 流 通 信

このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶企画課 ☎23局3507

ラオスで咲かせよう！ バラの花

2005年愛・地球博以降、田原市は、フレンドシップ相手国であったラオスのサイタニー郡と「ラオスの人づくり」を目的とした交流を続けています。

●農業研修事業 —ラオスにバラを咲かせよう！—

田原市では、ジャイカJICA(国際協力機構)から「草の根技術協力事業」の委託を受け、これまで平成19年・20年に2名ずつ、ラオスの農業研修生を受け入れてきました。研修生の皆さんは、ラオスでのバラ栽培実現を目指し、日本の農業を学んできました。そして事業開始から2年、ついにラオスでのバラ栽培が開始されました。



ラオスのバラ農園に田原市の市章を掲げる農業研修生と関係者の皆さん

●挑戦は始まったばかり！

日本のように設備が整っているわけでもなく、気候には雨季があるなど、田原市とは環境がずいぶん異なるラオス。バラを育てるのは、容易ではないそうです。しかし、帰国した研修生の皆さんは、田原市で学んだことをラオス流にアレンジしながら、バラ栽培の継続・発展を目指しています。



栽培が開始されたバラ農園。数か月後には初めての花摘みが予定されています

種類	解説	発表される津波の高さ
津波注意報	高いところで0.5m程度の津波予想。注意が必要です。	0.5m
津波警報	高いところで2m程度の津波予想。警戒してください。	1m、2m
大津波警報	高いところで3m程度以上の津波予想。厳重に警戒してください。	3m、4m、6m、8m

※「津波の高さ」は、津波がない場合の潮位(平常潮位)と津波によって海面が上昇した高さとの差のことです。

■津波注意報・警報の種類

こんにちは、のりりんです。今年1月4日、インドネシア東部ニューギニア島で発生した地震により、愛知県外海に津波注意報が発表されました。今回は、津波注意報や警報について説明します。

のりんの防災まめ知識

津波注意報 警報

45

忍びよる巨大地震



■津波予報区

田原市に該当する津波予報区は、「愛知県外海」(太平洋側)と「伊勢・三河湾」(三河湾側)です。

■市内放送でお知らせ

田原市では、津波注意報・警報が発表されると、市内一斉放送が自動的に流れます。海岸付近にあるスピーカーは、目で見てもわかるように、赤色回転灯が光ってお知らせします。放送が聞こえたり、回転灯が光っているのが見えたりしたら、注意してください。



▲海岸付近にあるスピーカーと赤色回転灯

■海岸には近づかない！

津波は進行方向への力が強いので、高さが20〜30cmであっても波に流されてしまう危険があります。津波注意報などが発表されたら、海岸や河口には決して近づかないでください。

▼防災対策室 ☎23局3548

歴史探訪

クラブ

History Inquiry Club

其の
95



文化振興課 ☎23局 3635

FAX 22局 3811

松下石人 庶民の普通のくらしを記録した人

田原市の優れた郷土史の研究者に、大久保町出身の伊奈森太郎（1883～1961）が挙げられます。伊奈は、郷土の偉人を郷土教育に取り入れるなど、教育者としても成果を挙げたほか、渡辺崋山や田原藩、考古学、民俗研究など、各分野の研究者と連携を図りながら資料を発掘し、多くの著作を残しました。しかし、もう一人忘れてはならない人物がいます。それは当時の泉村で生まれた松下石人（1893～

1955）です。石人は東洋大学哲学科を卒業後、教育雑誌「教育時論」の記者となり、退職後に亀鶴院（亀山町）の住職となる一方で、研究を進めました。そして『三州奥郡産育図絵』（1936年刊）・『三州奥郡風俗図絵』（1937年刊）・『三州奥郡漁民風俗誌』（1941年刊）をまとめ上げました。

伊奈が、歴史のいわば表舞台の研究で活躍したのに対して、石人は歴史の年表にも残らない、時代とともに風化する庶民の普通のくらし（明治～昭和初期）を丹念に記録しました。地味な研究ですが、その内容の素晴らしさは、最初に出版した『三州奥郡風俗図絵』の原稿を見た日本民俗学の巨人、柳田国男が大いに評価し、伊奈森太郎に「もっと書いてもらいなさい」と言ったほどです。しかし、普通のくらしを聞き取るのは意外に難しかったようで、石人は「彼等の思ひのままに語って居る雑談の間に、話のつひでの流れに従って話題を引き出し、雑談のままの姿態に於いて聞くと云ふ方法をとるやうに務めた。」と話しています。海に囲まれた渥美半島の地域のく

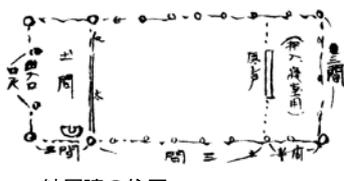
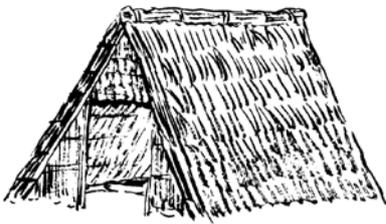
らしを知るには『三州奥郡漁民風俗誌』がうってつけの素材です。漁師の日常の言葉づかいや衣食住、漁法、信仰の様子、絶妙なスケッチとともに生き生きと記されています。



▲納屋建てと同じ構造の鯛小屋（戦前）

特に注意を引いたのは、海浜の網小屋と同じ建て方をした「納屋建」の建物です。草ぶきの屋根や、キャンプのテントのような床もない構造

納屋建



▲納屋建の住居
『三州奥郡漁民風俗誌』より

は、現在の家に慣れた私たちから見ただらうぶん粗末なものかもしれないが、物にあふれた華美な生活をしなければ、実は合理的な住まいです。

これらの記録は、奥郡（旧渥美町）のものですが、くらしのさまざまな知恵が詰まっている田原市の大事な文化財といえます。『三州奥郡産育図絵』・『三州奥郡風俗図絵』・『三州奥郡漁民風俗誌』は、図書館でも閲覧できますので、ぜひご覧ください。（増山）

※前号で斎藤専吉が明治11年（1876）福江町に生まれ、明治32年（1961）清田尋常小学校の教員となり、昭和33年（1962）に死去と紹介しましたが、明治11年は9年、1961は1899、昭和33年は37年の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

今月の「表紙」

▼潮風の中にたたずむ、スイセンとサーファー。その凛とした立ち姿に、夢中でシャッターを切りました。寒い冬の海へ入るのは、サーフィンが好きなだからこそ。私も好きなこと、イラストを描いたりデザインしたりすることを、楽しみながら続けていきたいと思いました。（O）

【表紙の写真】赤羽根一色の磯とスイセン